

2009年度

科目名	考古学実習Ⅱ				
担当教員	犬木 努				
配当	文財2			コード	21290
開期	後期	講時	火曜日1限	単位数	1
授業テーマ	考古学に関わる諸技術の基礎を修得する				
目的と概要	考古学においては、発掘調査から整理作業、報告書作成作業にいたるまで、さまざまな特殊技術の習得が不可欠である。考古学徒として必要なことは、第一に遺跡の発掘を行うことができること、第二にモノの実測ができることである。これらは実習の授業だけで、一朝一夕に学べることではないが、とりあえず考古学徒としてめざすべき地平(考古学界として保つべき水準)を知ってもらうとともに、できる限りそれに近い技術を体得してもらう。				
成績評価法	(1) 普通の提出物の出来具合、(2) 平常点、(3) レポートによる。レポートは、4回程度、授業内容に関する課題について作成してもらう。				
テキスト	使用しない。適宜、プリントを配布する。				
参考書	『博物館実習マニュアル』全国大学博物館学講座協議会西日本部会編集、芙蓉書房出版刊行				
履修に当たっての注意・助言	本実習は、考古学に必要な専門技術について、高いレベルでの習得を目指すものであり、中途半端な気持ちで受講しないこと。				
講義計画					
<p>授業時数は15回。主に以下のような内容の授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: 拓本の方法: 乾拓・湿拓作業の基本を学ぶ。</li> <li>2: 資料の接合・復元の方法: 陶磁器の接合など。</li> <li>3: 資料の実測: 実測図の作成方法を学ぶ(土器・石器・埴輪など)</li> <li>4: 図面のトレース</li> <li>5: 写真撮影: 撮影(ライティングなど)、現像、焼付、引伸の基本を学ぶ</li> <li>6: 版組、割付けの方法</li> <li>7: 地図の読み方(いわゆる読図)</li> </ol> <p>・各項目をそれぞれ数回にわたって行う。また順番・内容については変更する場合がある。</p>					